

北陸新幹線開業に向けて

# 上越市新幹線まちづくり行動計画

～みんなが取り組む行動計画～

**【概要版】**



平成23年2月  
上越市

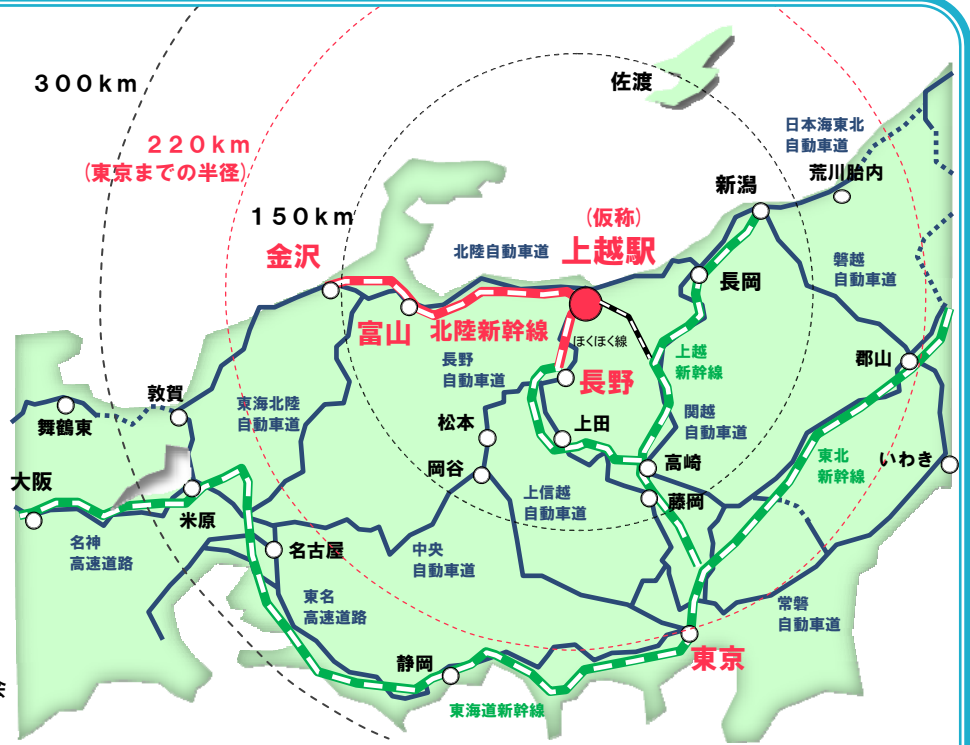
# 新幹線開業が上越市に与えるインパクト

## 広域的な移動時間の短縮

### 移動時間の短縮

- 東京** から 1時間35分  
(約 27分短縮)
- 長野** から 16分  
(約 68分短縮)
- 富山** から 32分  
(約 33分短縮)
- 金沢** から 47分  
(約 53分短縮)

※到達時間は北陸新幹線建設促進同盟会試算。



## 北信越で優位な位置

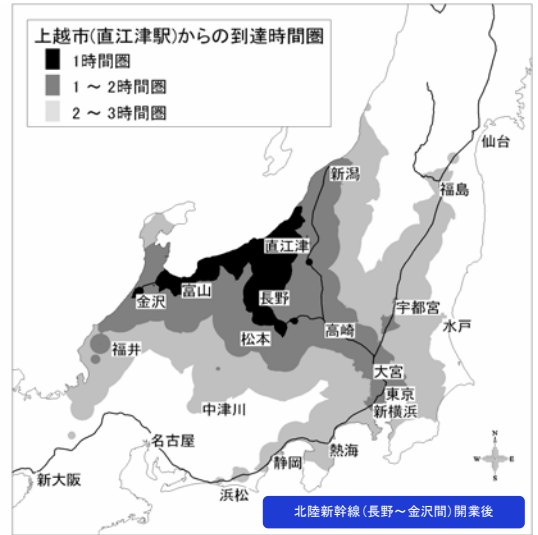
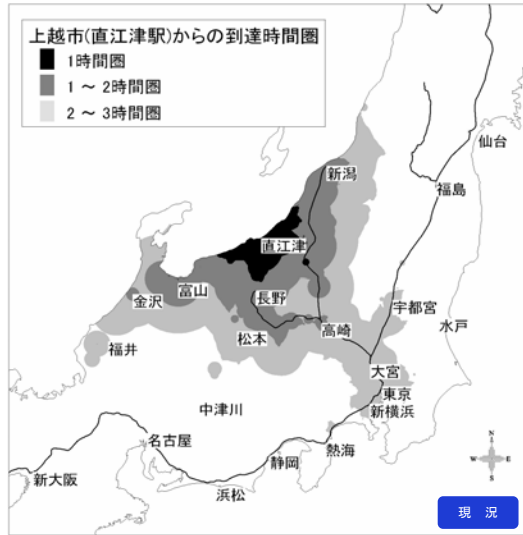
北信越エリアのほぼ中央に位置し、地理的優位性がさらに向上

高速交通網が道路、鉄道ともに充実します。

鉄道利用では**長野市、富山市、金沢市、長岡市**等から1時間以内で来訪できます。

## 広がる交流可能圏域

- 1時間以内で上越市に来られる圏域：約350万人(現在の6.8倍)に拡大
- 2時間以内で上越市に来られる圏域：約3,500万人(現在の3.7倍)に拡大



出典：北陸新幹線長野・糸魚川間フル規格整備推進上越広域協議会、新潟県上越地域振興局、糸魚川地域振興局『北陸新幹線を活かした地域振興策のあり方策定業務報告書』平成18年3月

## 大きな輸送力 安定した移動

- 運行本数は飛行機の約4～5倍※
- 1便当たりの輸送量は約2～3倍※



新幹線は飛行機に比べ運行本数が多く、たくさんの人を運ぶことができます。また、雪の影響を受けにくく、冬でも定時に目的地に到着することができます。

※新幹線：あさま8両編成(東京⇄長野)、飛行機：全日空76P=B767-300(東京⇄富山)で比較(平成23年2月現在)

# 新幹線開業がもたらすチャンス

## 交流可能圏域が拡大し、上越市に来訪しやすくなります

東京をはじめ、大宮・横浜・宇都宮などの首都圏の大都市や福井などが2時間の到達時間圏内に入り、日帰りの小旅行やビジネス目的での来訪が可能になります。



## 来訪者の上越市での滞在可能時間が長くなります

移動時間の短縮で、遅い時間の新幹線で帰ることが可能になります。その時間の分だけ、上越市に長く滞在し、市内を回遊していただくことが可能になります。

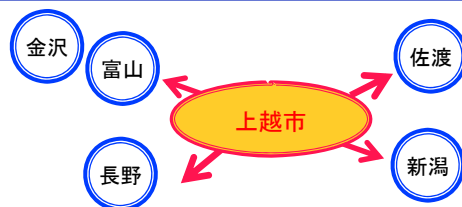
開業前： 滞在可能時間

開業後： 滞在可能時間

滞在可能時間の延長

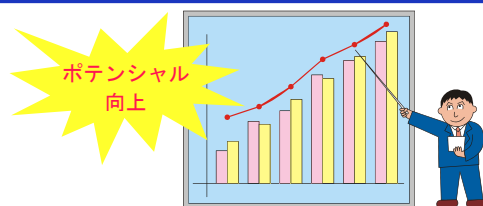
## 広域移動ルートの拠点として存在感が高まります

東京方面から、新潟県に入って第1番目の駅が上越(仮称)駅です。首都圏と北陸圏をつなぐ玄関口としての存在感が高まると同時に、新潟と富山・金沢をつなぐ結節点として重要な位置になります。



## 企業立地や産業集積、広域的ビジネス展開のポテンシャルが高まります

首都圏・北陸圏の主要都市から1~2時間でアクセスできるため、広域的なビジネス展開ができるようになり、新たな企業立地が期待できます。また、市内企業と関わりのある産業の集積を目指すこともできます。



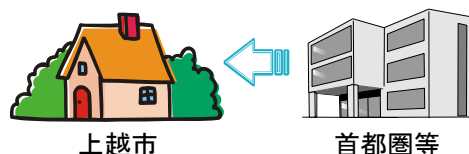
## 通勤・通学可能圏域が拡大し、上越市から通いやすくなります

移動時間の短縮で、これまで単身赴任や下宿などが必要であった都市へも自宅から通勤・通学することが可能となります。



## UJIターンや二地域居住の場として選ばれやすくなります

首都圏からの近接性や利便性、豊かな自然環境を兼ね備えた拠点形成を進めることによって、定住や、都市(仕事・平日)と田舎(余暇・休日)を使い分けたライフスタイルを実現する場としての可能性や期待感が高まります。



## 首都圏などで上越市の注目度が高まります

東京から新幹線を利用して、短時間で直接アクセスできる都市として、首都圏などでの上越市の注目度が高まります。



# 全国に向けて発信したい上越市の魅力

## 奥深く変化に富んだ風土



美しい山々に囲まれた高田平野

上越市の中央部には関川・保倉川などが流れ、この流域に高田平野が広がっています。この平野を取り囲むように、米山山地、東頸城丘陵、関田山脈、南葉山地、西頸城山地などの山々が連なっており、広大な日本海に目を向けると、海岸線には砂丘が続き、砂丘と平野の間には天然の湖沼群が点在しています。

こうした変化に富んだ地形は、自然の美しい風景や、深々と降り積もる雪、清冽な水をつくり、豊かな自然と共に生きる先人の知恵の詰まった農山村や美しい棚田など、豊かで奥深い風土を育んでいます。

## 北信越エリアの中心拠点、交通結節点



重要港湾として機能する直江津港

上越市は、北信越エリアのほぼ中央に位置し、北陸自動車道と上信越自動車道が接続するほか、平成26年度末に開業予定の北陸新幹線や北陸本線、信越本線、ほくほく線といった複数の主要な鉄道が市内で結節するなど、陸上交通の要衝となります。

さらに、海上交通の拠点となる直江津港を有しており、日本海の先に広がるアジア地域との交流の拠点となる可能性を持っています。

## 都市の利便性と自然の恵みを楽しむ豊かな暮らし環境



田舎暮らし体験

上越市は、上越教育大学や県立看護大学などの専門教育機関や、県立中央病院、新潟労災病院、上越総合病院などの高度医療機関が充実しているほか、四季折々の表情のある豊かな自然を体全体で感じる様々な体験など、都市的な利便性と自然の恵みを楽しみながら、多様なライフスタイルを実現できる地域です。

## 歴史に彩られたまちなみと伝統・文化



高田公園の桜と三重櫓

上越市は、湊町、城下町、寺町、宿場町など、様々な側面を有しながら長い時間をかけて発展してきました。上越市のまちでは、積み重ねられた歴史を今に伝える様々な遺産や伝統・文化に触れることができます。

また、雪がもたらす豊かな水と良質な大地が育てた作物や食文化は、上越市の人々の暮らしを支えるとともに、多くの人の舌を楽ませています。

## 豊かな自然と粘り強く勤勉な人柄が支える上越市の産業



第14回機械要素技術展  
(上越ブース)

豊かな自然と粘り強く勤勉な人柄は、地域経済の発展を支える原動力となっています。

上越市は、陸上・海上交通の要衝として古くから栄え、化学工業、機械金属加工業など、多彩な産業技術が集積されてきました。近年は、半導体、電子部品などのIT関連産業が発展しています。

また、農業においても、豊かな自然の恵みを受けて、上越米や上越野菜などの上越ブランドが育ちつつあります。

# 上越市新幹線まちづくり行動計画とは

上越市新幹線まちづくり行動計画は、新幹線開業がもたらすチャンスをいかすため、観光やビジネスだけでなく、農業や医療福祉、教育など様々な分野において開業効果が発揮されるよう、多様な団体や個人がそれぞれの役割を明確にしながら、連携・協力した取組を進め、人が輝く「住み続けたいまち」「選ばれるまち」の実現を目指すための計画です。

新幹線開業に向けた取組を行わないと . . . . .



何もしなければ . . .

新幹線開業チャンスはいかせない、地域の魅力は伝わらない

(想定される影響)

来訪者の減少、地域経済の疲弊、定住人口の減少、企業の撤退、知名度低下 等

新幹線開業に向け、全市を挙げて取組を行うと . . . . .



## 上越市新幹線まちづくり行動計画

- ・観光やビジネスだけでなく、農業や医療福祉、教育など様々な分野において新幹線開業がもたらすチャンスを発揮できるよう、行政のみならず、民間企業やNPO、市民などの多様な主体がそれぞれの役割を明確にしながら連携・協力し、取組を実施するもの。
- ・取組は「開業イベント」「開業前に準備すべき取組」「開業後も効果を継続させるために必要な取組」に整理する。
- ・開業前のみならず、開業後も取組の評価と検証を実施し、実効性を確保する。

計画の推進

【目指す姿】

人が輝く「住み続けたいまち」「選ばれるまち」の実現

(想定される影響)

来訪者の増加、地域経済の活性化、定住人口の増加、企業の進出、知名度向上 等

# 目指す姿を実現するための基本的方向と取組方策

新幹線開業のチャンスと上越市の魅力をいかし、人が輝く「住みたいまち」「選ばれるまち」を実現するため、行動計画では7つの基本的方向に基づいた実効性のある取組を進めます。

## A おもてなし空間とゲートウェイ機能の充実

上越(仮称)駅は、上越市の新しい顔であり、来訪者が最初に降り立つゲートウェイとして、多くの方々にとって満足してもらえる質の高い新都市空間の形成を目指します。

【取組方策】

- ・有効な土地利用と質の高い駅前公共空間の整備
- ・商業・業務機能の充実
- ・エキナカ機能の整備



整備が進む上越(仮称)駅

## B 上越市の魅力をつなぐおもてなしのネットワークづくり

目的地に応じて適切な交通手段を選択し、上越(仮称)駅から迷うことなくスムーズに移動・周遊できる環境を充実させることで、目的地までの到達時間の短縮や来訪者の域内での滞在時間の増加を目指すとともに、上越市への来訪者がおもてなしのこころを感じられる環境づくりを目指します。

【取組方策】

- ・並行在来線の充実
- ・路線バスの充実
- ・小木直江津航路の充実
- ・道路交通網の整備
- ・観光関連事業者によるおもてなしの向上
- ・様々な二次交通を補完する機能の充実
- ・快適な受入空間の創出
- ・外国人観光客へのおもてなしの向上



観光ボランティアガイド

## C 何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実

上越ならではの歴史や風土、食文化などを楽しめる観光資源を磨き上げ、全国・海外からも多くの人を呼べるような観光コンテンツや、一度の来訪で上越市の魅力の奥深さを知り、何度でも訪れたいような観光コンテンツを充実し、交流人口の拡大を目指します。

【取組方策】

- ・広域観光連携の推進
- ・体験・滞在型観光の推進
- ・歴史や伝統を通じた誘客促進
- ・森林環境をいかした誘客促進
- ・文化財をいかした魅力創出
- ・魅力あるイベントや催し物への誘客促進
- ・多彩な観光メニューやルートづくり



上越まつり(直江津地区)

## D 上越市の食・ものづくりの力をいかした産業の活性化

新幹線開業によって、さらに優位となった立地特性をいかして、進出企業の立地を促進するとともに、上越市の特産品や食文化、ものづくりの力などをいかして、新たな技術や商品を開発することにより、産業の活性化を目指します。

### 【取組方策】

- ・内発型ものづくり産業の活性化
- ・企業や事業所等の立地促進
- ・市内企業における産業の活性化
- ・食をいかした新たな特産品等の創出



新潟県南部産業団地

## E 多様なライフスタイルが可能な上越暮らしの促進

上越市の魅力をいかして、多様なニーズに対応した暮らし方の情報発信を行い、地域間交流を活発化し、定住人口の増加を目指します。

### 【取組方策】

- ・積極的な情報提供による定住促進



牧区の棚田

## F 高速交通基盤をいかした拠点性の強化

地域医療や教育、スポーツなどの分野において、上越市の地理的優位性や高速交通基盤をいかした拠点性の強化を目指します。

### 【取組方策】

- ・地域医療体制の充実
- ・教育体制の充実
- ・コンベンションの誘致
- ・地理的優位性をいかしたスポーツ交流の促進



えちご・くびき野 100km マラソン

## G 選ばれる上越市の魅力発信による知名度の向上

観光やビジネス展開の舞台として選ばれるよう、全国での上越市の知名度や存在感の向上を目指します。

### 【取組方策】

- ・新幹線開業PRによる地域の機運醸成
- ・開業記念イベントの実施
- ・多様なツールをいかした地域の魅力発信
- ・新幹線駅名等の検討を通じた知名度向上



天地人ラッピングトレイン出発式

# 取組方策の体系

取組方策		取組名
<b>A おもてなし空間とゲートウェイ機能の充実</b>		
A 1	有効な土地利用と質の高い駅前公共空間の整備	① 土地区画整理事業の推進 ② 信越本線移設事業の推進
A 2	商業・業務機能の充実	① 商業・業務施設の誘致
A 3	エキナカ機能の整備	① エキナカ機能の整備
<b>B 上越市の魅力をつなぐおもてなしのネットワークづくり</b>		
B 1	並行在来線の充実	① 並行在来線の利用促進及び利便性向上
B 2	路線バスの充実	① 路線バスの利便性向上
B 3	小木直江津航路の充実	① 小木直江津航路の利便性向上
B 4	道路交通網の整備	① アクセス道路の整備 ② 上越(仮称)駅に誘導する案内標識の整備
B 5	観光関連事業者によるおもてなしの向上	① 観光関連事業者によるおもてなしの向上 ② 期間限定割引サービスの提供
B 6	様々な二次交通を補完する機能の充実	① レンタカー機能の充実 ② タクシー乗務員の育成
B 7	快適な受入空間の創出	① 観光地のユニバーサルデザイン化 ② 環境美化活動の推進
B 8	外国人観光客へのおもてなしの向上	① 外国語が話せる観光ボランティアガイドの養成等 ② 観光関連事業者による外国人観光客へのおもてなしの充実
<b>C 何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実</b>		
C 1	広域観光連携の推進	① 上越地域3市による広域観光連携の推進 ② 北陸新幹線沿線都市との広域観光連携の推進 ③ 小木直江津航路を利用した上越・佐渡広域観光の確立
C 2	体験・滞在型観光の推進	① 越後田舎体験メニューの充実 ② メディカルグリーンツーリズム構想 ③ 農業体験による交流の促進
C 3	歴史や伝統を通じた誘客促進	① 高田と直江津の中心市街地をいかした誘客促進 ② 謙信公ゆかりの地振興事業の推進 ③ 日本一の雁木通りをいかした誘客促進
C 4	森林環境をいかした誘客促進	① 南葉高原森林レクリエーションの推進 ② 南葉高原キャンプ場の受入体制強化
C 5	文化財をいかした魅力創出	① 釜蓋遺跡の整備 ② 広域歴史公園の活用
C 6	魅力あるイベントや催し物への誘客促進	① 年間を通じたイベントへの誘客促進 ② 総合博物館及び小林古径記念美術館の開業記念イベントの開催
C 7	多彩な観光メニューやルートづくり	① 新たなツアー造成の促進 ② テーマ別観光モデルルートの提案



取組方策	取組名
<b>D 上越市の食・ものづくりの力をいかした産業の活性化</b>	
D 1 内発型ものづくり産業の活性化	① 産学連携の推進 ② 産産連携の推進
D 2 企業や事業所等の立地促進	① 企業や事業所等の誘致 ② 協力会社の誘致
D 3 市内企業における産業の活性化	① 市内企業における産業の活性化 ② 新幹線開業によるビジネスチャンスの創出
D 4 食をいかした新たな特産品等の創出	① 米粉を使用したオリジナル中華麺の開発 ② 上越野菜をいかした郷土料理等の開発 ③ ご当地グルメコンテストの開催
<b>E 多様なライフスタイルが可能な上越暮らしの促進</b>	
E 1 積極的な情報提供による定住促進	① 定住に関するワンストップ対応の推進
<b>F 高速交通基盤をいかした拠点性の強化</b>	
F 1 地域医療体制の充実	① 地域医療体制の充実
F 2 教育体制の充実	① 教育機関や研究機関等の誘致 ② 教育をテーマとした人的交流の促進 ③ 教育関係者をターゲットとした交流促進
F 3 コンベンションの誘致	① コンベンションの誘致
F 4 地理的優位性をいかしたスポーツ交流の促進	① 北信越エリアにおける各種大会の積極的誘致 ② 北陸新幹線沿線都市との連携によるスポーツ交流 ③ 地域の特産品に関連付けたスポーツ交流 ④ スポーツ施設の充実
<b>G 選ばれる上越市の魅力発信による知名度の向上</b>	
G 1 新幹線開業PRによる地域の機運醸成	① 新幹線開業PR ② 新駅見学ツアーの開催
G 2 開業記念イベントの実施	① 開業記念イベントの実施 ② 開業記念誌の作成
G 3 多様なツールをいかした地域の魅力発信	① インターネットによる情報発信 ② マスメディアを活用した情報発信 ③ キャラバン活動の展開 ④ 物産展等による情報発信 ⑤ 人脈をいかした情報発信
G 4 新幹線駅名等の検討を通じた知名度向上	① 新幹線駅名等の検討

# 行動計画の効果的な推進

新幹線開業のチャンスをいかすには、日々変化する社会情勢に柔軟に対応しながら、行動計画の着実な推進を図る必要があることから、実施主体で構成される『上越市新幹線まちづくり推進連携会議』を設立し、実施主体間で情報の共有を図り、十分に連携・協力しながら行動計画を推進します。

## (1) 多様な主体の参加と連携

行政だけでなく、民間企業やボランティア団体、NPO、大学等の教育機関、病院等の医療機関などの多様な団体や個人の自主的な参加と連携により行動計画を推進します。

## (2) 効率的・重点的な取組の実施

厳しい財政状況が続く中、新幹線開業に向けて着実に行動計画を推進するため、取組の実施主体が連携・協力しながら、効率的かつ重点的に取組を実施するものとします。

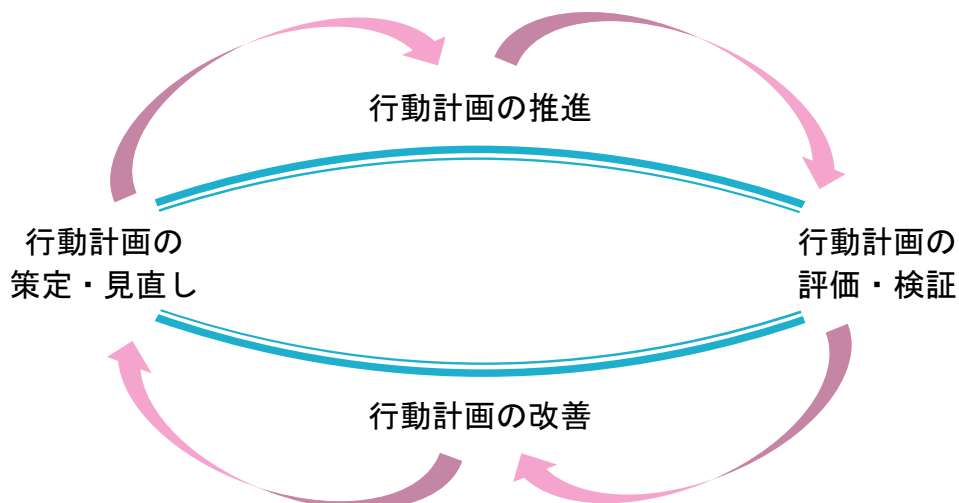
## (3) 計画の進捗管理

『上越市新幹線まちづくり推進連携会議』では、行動計画の実効性を高めるため、社会情勢の変化や地域の実情などを踏まえ、毎年度、行動計画の進捗状況を評価・検証しながら、課題解決に向けて十分に検討・協議を行います。

その結果を踏まえて、行動計画の見直しを行い、新幹線の開業効果を地域全体に波及させるために、より一層の推進を図ります。

行動計画の推進にあたっては、取組の輪が地域全体に広がるよう、必要に応じて、その他関係団体などとも十分に連携を図っていきます。

### 【推進のイメージ】



# 上越市新幹線まちづくり推進連携会議

## (1) 目的

北陸新幹線の開業がもたらす様々な効果をいかしたまちづくりを推進するため、上越市新幹線まちづくり推進連携会議を設立し、行動計画を推進するとともに、評価・検証を行い、行動計画の見直しや実施主体間の連絡調整などを円滑に行うことにより、新幹線開業に向けたまちづくりを総合的かつ計画的に実施することを目的とする。

## (2) 所掌事項

- 行動計画の推進及び評価・検証・見直し
- 行動計画に登載する取組の実施主体間の連絡調整
- その他、目的を達成するために必要な事項

## (3) 構成団体

- 行政機関
- 商工観光団体
- 交通事業者
- 農業関係団体
- 教育関係団体
- 医療関係機関
- スポーツ団体
- その他団体



**上越市新幹線まちづくり行動計画【概要版】**

平成23年2月

発行 新潟県上越市

編集 上越市 総合政策部 新幹線・交通政策課

〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号

TEL:025-526-5111 FAX:025-526-6111

URL <http://www.city.joetsu.niigata.jp/>